

2025-26 年度 会長方針

『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! ! 』



大東ロータリークラブ 会長 杉原 巨峰

2025 年 4 月、55 年ぶりの「大阪・関西万博」が盛大に開幕し、『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマに掲げる万博として、世界が一つの「場」に集い交わる機会となります。

この大阪の地に、世界の多種多様な文化や価値観が交じり合い、新たなつながりや創造を生み出し、世界的な危機を乗り越え一人一人のいのちを守り、いのちの在り方、生き方を見つめ直す機会となり、「未来への希望を世界に示す万博」となることを目指されています。

ここに私たち『ロータリーの目的』と、この万博の理念とを重ね合わせてみることができるのでないでしょうか。

『ロータリーの目的』とは、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。と記されています。(大東ロータリークラブ定款第 5 条)

私たちは、交流による出逢いから知り合いを広めることによって奉仕の機会とし、職業上の高い倫理基準を保ちながら、ロータリアン一人一人が奉仕の理念を実践し、ロータリーという世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進することにあります。この国際色豊かな万博の開催年度として改めてロータリーメンバーとして理念の価値や、その意義の理解を深める大きなチャンスとして考えます。

本年度 RI 会長フランチェスコ・アレツツオ氏(イタリア・ラグーザ RC)のメッセージは、
UNITE FOR GOOD 『よいことのために手を取りあおう』

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。人種、ジェンダ

一、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的が私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、社会へ奉仕し、末長いインパクトをもたらしていきます。」と述べられました。

これらを踏まえ、第 2660 地区ガバナー吉川 健之氏は、2025-26 年度の活動スタンスを、

Enjoy Rotary through learning & personal exchanges.

学びと交流を通してロータリーを愉しもう

-新たな仲間を迎える-

として、2つのキーワードを掲げられました。

1. **温故創新** 伝統と歴史から学びつつ今の時代に相応しい活動様式を積極的に取り入れる

2. **交流** 地区内における新たな交流の機会を創出し、クラブの活性化を目指す

このことから、これまでの先輩諸兄が行ってきた「よいこと」すなわち奉仕活動をさらに充実させていくために、より多くの人や団体と繋がる必要があるという意味です。

国際ロータリーは活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけました。

これはクラブの発展と活性化のためにおこなうものであります。

本年度、大東ロータリークラブは、58 年目の年にあたり、3 年後には創立 60 周年を迎えます。

それに当たり、大東ロータリークラブの先行く未来づくりのための初年度（「3-Year Rolling Goals」）と考え、クラブ戦略委員会の中で、向こう 3 年間の会長候補者また各委員会と共に連携をとりながら、次世代のクラブ環境づくりを目指し、さらなる親睦と友情が育まれ魅力あるクラブへと発展し『光輝く未来へ』と繋げていくべく邁進して参ります。

陸上競技種目の三段跳びで喻えるなら HOP・STEP・JUMP の HOP の年、すなわち、未来に向けて遠くに跳ぶための踏み切る第一歩の年と考え

本年度を「HOP 期」Human and Organizational Performance いわゆる人が集い体系化されている環境下でのパフォーマンスを向上させる事を目指す年度とし、

本年度スローガンを『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』
と掲げさせて頂きました。

私たちロータリアンの使命は奉仕の理念を持って、世界・地域社会へ持続的に
「よいこと」をし続けていくためには、母体となるクラブ環境を省み、会員相互の信頼を

深め、信頼が団結力へと繋がる魅力あるクラブへと成長し、ロータリー活動において最も大切な財産である会員拡大へと繋がっていくものと考えます。

また本年度は 13 年振りに第 2660 地区 IM3 組ガバナー補佐として佐藤多加志会員には多大な重責を担って頂くこととなります。

ガバナー補佐セクレタリーチームを発足し、ガバナー補佐が主催します燐々会(会長幹事会)、また、フレッシュロータリアンのホストクラブとして企画運営をして頂くことになります。

存分なご活躍が発揮できるようクラブメンバー皆様のご支援をよろしくお願い致します。

今一度、クラブメンバー皆様が、ロータリー(人として)の行動規範である「四つのテスト」と照らし合わせながら行動して頂くことにより、会員相互の信頼が更に深まり、クラブ発展の礎を築き未来につながって行くものと確信しています。

57 年間もの長きに渡り、築き上げられた歴史と伝統ある大東ロータリークラブの 1 ページ(1 年)の物語を皆様と作り上げたいと思っております。

会長職をお受けするにあたり光栄かつ恩義と感謝を抱き、その責務を全うしていく所存でございます。

会員諸兄のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

幹事 柿木 篤

本年度、幹事の大役を仰せつかりました柿木です。杉原会長は、本年度スローガンに『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』を掲げられました。杉原会長のスローガンのもと、3年後、60周年を迎えるにあたり、クラブの発展と活性化に真摯に取り組んでまいりたいと思います。

一.クラブの状況を把握して、クラブ運営をスムーズに進めてまいります。

一.伝統を継承しつつ、新しい要素を取り入れた例会運営に取り組んでまいります。

一.クラブの状況を把握し、問題解決に取り組んでまいります。

幹事として未熟な点多々ありますが、会員皆様のご理解・ご協力を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

会計 森田 武雄

本年度、杉原会長年度でクラブで会計の扱いを受け感謝いたします。会長のスローガン『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』の下でクラブの会計管理を勉強させて頂きます。会費の集金、各種寄付等、事業、ニコニコメンバーひとりひとりからの心使いを大切に管理して参ります。また、事務局との連携もしっかりとしながら自身の経験値をアップしたいと思います。メンバーの皆様一年間宜しくお願い致します。

S.A.A 生駒 智人

本年度、S.A.A を仰せつかりました生駒智人でございます。S.A.A とは会場監督であり、その任務と役割は「楽しく円滑に効果的な例会が行われるようにする事」にあります。この S.A.A としての役割を踏まえながら、本年度、杉原会長の方針である『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』のもと、S.A.A として、笑顔が溢れる和やかな例会が執り行えるように柿木幹事、事務局、親睦活動委員会と連携し、会員の皆様が、さらなる親睦と友情が育まれ光輝く未来に向けて、実りのある例会にして参りたいと思います。会員の皆様には例会への積極的な参加をお願い致しますとともに、例会運営へのご協力並びにご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

クラブ奉仕委員会 中野 秀一 委員長

クラブ奉仕委員会は当クラブ細則に定められている通り、会員増強・ロータリー情報・プログラム・親睦活動・広報・シンギング・ニコニコ箱の7委員会の委員長で構成されます。本年度、杉原会長の掲げるスローガン『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』には、「持続可能な魅力あるクラブを目指して！」行くという、強い願いが込められていると感じます。この一年間が60周年に向けて力強いクラブへと成長する3か年計画の初年度と捉え、メンバー間の親睦と友情が更に強固になり、大勢の志高い新入会員を迎える事が出来る「地域にとって必要な魅力あるクラブ」となるように、微力ではありますが各委員会の事業計画策定・実施に際しての助言や、委員会・メンバー間の情報交換・交流が円滑に行われるよう、クラブ奉仕委員長としての責務を全うしてまいり所存です。私自身、まだまだ未熟なロータリアンではありますが皆様にはご理解とご協力を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

職業奉仕委員会 中野 剛 委員長

本年度職業奉仕を担当させて頂きます事になりありがとうございます。職業奉仕は事業及び専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重させるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践して行くという目的を持つものであるとされています。職業を通じ社会に貢献するという事を実践して行きたいと思います。また本年度は四條畷学園中学校にて出前授業が予定されており、杉原会長のスローガンにもあります「光輝く未来に向けて」将来を担う学生に会員皆様の経験や理念をお話しいただき、少しでも役立てばと願います。先輩諸兄の皆様の御理解ご協力賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

社会奉仕委員会 横本 有伸 委員長

本年は杉原会長のスローガン『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』のHOP期として、クラブの未来づくりに向けた大切な第一歩となります。社会奉仕委員会では、地域に根ざした活動を大切にし、地域の声に耳を傾けながら、あたたかく持続可能な奉仕を目指します。特に次世代支援として、大東市こども園への遊具贈呈を予定

しております、子どもたちの笑顔と成長を応援する取り組みを進めます。会員同士のつながりを大切にしながら、皆で協力し合い、楽しくやりがいのある奉仕活動を展開してまいります。どうぞ 1 年間よろしくお願ひします。

親睦活動委員会 中崎 諭 委員長

本年度 親睦活動委員会委員長を仰せつかりました 中崎諭です。親睦活動委員会はクラブ内での重要なポジションだと自覚し、杉原会長が掲げられましたスローガン『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』のもと本年度「HOP 期」は親睦活動委員会も 60 周年に向けて結束を深めてまいりたいと思います。

家族会・クリスマス会は会員の皆様のよき思い出となるように心を込めて執り行つてまいりますので、何卒宜しくお願ひ致します。親睦会は親睦委員会メンバーの親睦はもちろん、会員の皆様にも出席していただける親睦会も開催し、クラブ内の親睦をより一層深める企画もしたいと思いますので、その時は多くの会員の皆様の出席をお待ちしております。至らぬ点 多々あると思いますが、1 年間どうぞよろしくお願ひ致します。

国際奉仕委員会 中嶋 啓文 委員長

本年 10 月半ばまで『大阪・関西万博』が開催されており、多くの国内外からのお客様が来阪されております。4 月には、姉妹クラブである雙溪ロータリークラブも来られ、大いに懇親を図ることができました。国際奉仕委員会は、海外のロータリアンとの親睦・活動を通じて平和と相互理解を推進しなければなりません。機会があれば世界中のロータリアンとの親睦を深めて行きたいと思います。

本年度は、雙溪ロータリークラブの 35 周年の年度であり、姉妹提携調印の年です。また、WCS 事業も雙溪ロータリークラブの方で実施されますので、その事業の視察も含め、会長・幹事と帯同し訪問する予定です。ゴルフコンペも開催する予定ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。 本年度会長方針であります『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』の元、「よいこと」をし続けていくために、交流の在り方を協議・再考していきたいと考えます。我々は米山奨学生や、姉妹クラブである雙溪ロータリークラブとの交流を通じて国際親善の楽しさを実感しているはずです。もっと

楽しく、もっと親しく、もっと自由な交流を続けていきたいと思います。 国際奉仕委員会は、ロータリー財団・米山奨学委員会と共に邁進して参ります。 会員皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

青少年奉仕委員会 西山 潤一 委員長

本年度、杉原会長のスローガンである『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』のもと、青少年奉仕委員会は次世代を担う青少年の健全な成長と未来への希望を心から願い、その実現に全力を尽くしてまいります。先輩諸兄が築き上げてきた伝統と精神を胸に、私たちは青少年の可能性を信じ、彼らの未来を輝かせるための事業を積極的に推進していきます。本年度は第46回大東ロータリークラブ旗争奪少年野球大会を開催いたします。本大会は、地域の少年たちにスポーツを通じて健全な心身の育成を図ることを目的としております。単に勝敗を競う場にとどまらず、仲間との絆を深め、努力することの尊さやフェアプレーの精神を学ぶ貴重な機会となります。参加する子どもたちが、チームワークを重んじ、将来の社会を担うリーダーとしての資質を育んでくれることを期待しております。第20回大東市小中学生弁論大会では、子どもたちが自らの考えを言葉にして発信する力を養うことを目的としております。自己表現やコミュニケーション能力など、未来の社会において必要不可欠なスキルを培う絶好の機会であると思っております。会員の皆様には、ご指導とご協力をお願いいたします。

会員増強委員会 東村 正剛 委員長

本年度 RI会長フランチェスコ・アレツツオ氏のメッセージでもあります、「よいことのために手を取りあおう」を踏まえ、第2660地区ガバナー吉川健之氏は、「学びと交流を通してロータリーを愉しもう-新たな仲間を迎えよう-」とテーマを掲げられ、当クラブの杉原会長は、『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』をスローガンとして掲げられました。どのメッセージ、テーマ、スローガンも共通して言えることは、“会員増強”この一点だと思います。私は、入会後これまで数名のメンバーの紹介者となり、色々な形で、入会後も公私に渡り関わってまいりました。又、今後も私が所属している様々な諸団体、交友関係の中から、大東ロータリークラブへ入会して頂ける様、個人的にアンテナを張り、お声掛けをしていきたいと思います。しかし、大東ロータリークラ

ブはここ数年、会員増強に大きな課題と問題を抱えています。この課題と問題のクリアなくして、会員増強は達成できないと思います。会員増強に向けた課題と問題の解決の為、微力ではありますが、会員の皆様のお力添えを頂きながら、会員増強に努めたいと考えます。会員の皆様方のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

ロータリー情報委員会 田川 和見 委員長

ロータリーの目的とは意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあると記されています。杉原会長は本年度のスローガンを『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』とされました。

ロータリー情報委員会は、「会員候補に会員としての活動の情報を提供し、入会してからの1年間、新会員のオリエンテーションを監督するものとする」とされています。永遠のテーマもあります。会員増強を第一義として、当クラブに関する情報提供を行って参りたいと考えています。皆様方のご理解とご協力を願いします。

プログラム委員会 岡井 康弘 委員長

本年度プログラム委員会委員長を仰せつかりました岡井でございます。1年間の卓話担当者リスト作成にあたり皆様方のご理解とご協力を頂きリスト表通りの年間計画表が出来上がりました。誠に有り難うございました。卓話では会員の方々やゲストの演者により人生観・経験談・趣味の世界・社会活動等の興味深い話や時には含蓄あるお話を聞くことができ大変有意義な時間だと思います。最後に卓話担当者様欠席の場合等、調整をお願いさせて頂くことがあります皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

広報委員会 田中 瞳久 委員長

本年度、広報委員会委員長を仰せつかりました。田中瞳久でございます。杉原会長が掲げられましたスローガン『光輝く未来に向けて HOP ! STEP ! JUMP ! !』のもと、これまで先輩方が築かれてきたシステムを活用して、ホームページ、SNS等でクラブの活動を発信してまいります。入会してまだ半年足らずですが、少しでもロータリーの事を学びながら、頑張っていきたいと思います。会員皆様にはお力添え頂きます様、宜しくお願ひ申し上げます。

シンギング委員会 加納 誠 委員長

1. 親睦と調和を歌に乗せて広げる

「ロータリークラブの理念を、歌を通してより心に響かせ、会員同士の親睦を深めていきます。」

2. 歌声は心の架け橋

「例会において、歌を通じて気持ちを一つにし、1年を通して明るく温かな例会づくりに貢献します。」

3. 毎回、楽しく歌うことを忘れない

「上手さよりも、楽しさと一体感を大切に。皆で声を合わせる喜びを実感できる場をつくります。」

掲げました3つの精神でタクトを振らせていただきたいと思います。

1年間よろしくお願ひいたします

ニコニコ箱委員会 森脇 克弥 委員長

本年度、ニコニコ箱委員会委員長を仰せつかりました森脇克弥でございます。

ニコニコ箱は、ロータリークラブの奉仕活動を支える大切な財源の一つです。皆様の温かいご支援が、地域社会への貢献、国際理解の推進、そして未来を担う若者の育成など、多岐にわたる活動の原動力となります。本年度は、会員の皆様がニコニコ箱への寄付を通じて、ロータリー活動への「参加意識」と「貢献実感」をより強く感じられるような委員会運営を目指してまいります。会員の皆様には、ご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ロータリー財団委員会 中 恒夫 委員長

ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できる様支援することです。世界でよいことをするという目的で。人種、ジェンダー、性別、思想、を乗り越え、世界平和の構築支援、子ども支援、真の志ある奉仕活動等、世界の平和と安定に寄与するために、活動しなければなりません。メンバー皆様におかれましては、ご理解とご協力をお願い申しあげます。

米山奨学委員会 岸沢 重和 委員長

本年度、米山奨学委員会委員長を仰せつかりました岸沢重和でございます。

本年度も引き続きグエン・ティ・トムさんをホストさせて頂きます。～奨学事業の価値は『どんな奨学生を採用したか』で決まります。さらに、意味のあることは、『どんな奨学生に育てたか、育ってくれたか』にあります。これは地区研修・協議会での米山奨学委員長の手引き 1 ページ目に書かれている一文です。将来、日本と世界との「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成し平和と国際理解の推進につなげる一助となるよう 1 年間お手伝いしたいと思います。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

インターラクト委員会 橋口 光平 委員長

このたび、昨年度に引き続きインターラクトクラブ委員長を拝命いたしました橋口光平です。2 年目の委員長としての責任を自覚し、昨年度の活動をふり返りながら、より一層実効性のある取り組みを推進してまいります。これまで同様、提唱校と大東ロータリークラブとの懸け橋として、互いの信頼関係を深める役割を担い、青少年の健やかな成長と地域への貢献を目指して邁進いたします。インターラクトクラブは、若者たちが主体的に社会と関わりながら、リーダーシップを養う貴重な場です。本年度は、昨年度の反省点を踏まえつつ、引き続き次の三つの柱を軸に活動を展開していきます。

1. 青少年のリーダーシップ育成

未来を担う若者たちが、自らの力で問題を解決し、他者と協力して目標を達成できるリーダーとなるためのプログラムを現状のクラブ活動に組み込んでもらえるように提唱校に働きかけます。

2. 地域社会への積極的な貢献

インターラクトクラブの活動が地域社会にどのように役立つかを考え、具体的なプロジェクトを提唱校主体で企画・実施していきます。清掃活動や福祉施設でのボランティアなど、多岐にわたる活動を展開し、地域の皆様との絆を深めます。

3. 国際理解と交流の推進

異なる文化や価値観を理解し尊重することは、グローバル社会で活躍するためには欠かせない要素です。国際交流プログラムを通じて、他国のインターラクト

クラブとの連携を深め、世界視野での友情と協力関係を築いていきます。

結びに、インターラクト委員長としての2年目は、「継続と改善」を軸に、より実りある活動となるよう努力してまいります。皆様の温かいご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

クラブ戦略委員会 空門 満也 委員長

2025-2026年度、杉原会長の掲げるスローガン『光輝く未来に向けて HOP ! STEP !

JUMP ! !』のもと、クラブ戦略委員会は、“未来を見据えた基盤づくり”を重要な使命と捉え、行動してまいります。

本年度は、大東ロータリークラブ創立60周年に向けた「3-Year Rolling Goals」の本格始動の年にあたります。クラブ戦略委員会は、これまでの歴史と伝統を踏まえ、次世代に繋がるクラブ環境の設計を主導する役割を担います。そのために、会長経験者、次期・次々期幹部予定者を含む本委員会の知見と多様な視点を最大限に活かし、継続可能で魅力的なクラブ運営のあり方を具体的に検討してまいります。

また、ロータリー活動の原点に立ち返り、「出会いと学び」「奉仕と親睦」「信頼と連携」の輪を広げることを通じて、クラブの組織力を高め、会員の満足度向上、ひいては会員拡大という好循環の創出を目指します。

特に、3つの事項に注力します。

一、「3-Year Rolling Goals」の推進、つまり3年後、そしてその先のクラブの姿を描き、今必要な制度設計・環境整備を提案・推進します。

一.会員基盤を強化すべく会員拡大・定着に向け、同好会などの促進に取組みます。

一.メークアップを推進し、地区内外とのつながりを強化し、学びと刺激を受ける機会を創出します。

本委員会は、クラブの未来を思い描き議論することを目的としております。そこから生まれる提案や指針が、次年度以降の具体的なアクションへと繋がっていくことを期待しております。どうか会員の皆様におかれましては、本年度も引き続き、温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。